

根城 青森県八戸市根城字根城 47

建武元年（1334年）南部師行（もろゆき）により築城されたと伝えられ、寛永4年（1627年）に遠野に国替えされるまでの約300年間、南部氏の居城となりました。現在でも、本丸・中館（なかだて）・東善寺館（とうぜんじだて）・岡前館（おかまえだて）・沢里館（さわさとだて）と呼ばれる曲輪（くるわ）や堀跡が残っています。

主殿と呼ばれる当主が儀式を執り行った建物を中心に工房（こうぼう）・板蔵（いたくら）・納屋（なや）・馬屋（うまや）などが復原されており、内部に入れば、正月の儀式の様子や、いろいろな道具類などを見ることができます。



根城に入る門



濠の深い



根城に繋がる通路



東門



納屋の内部



奥御殿(当主の家族の居住)



鍛冶工房



工房内部



屋外の鍛冶場



馬屋跡





主殿



主殿内部



主殿内部の祈祷所